

神奈川の戦略

- 1 ヘルスケア・ニューフロンティアの推進
- 2 輝き続ける人生 100 歳時代の実現
- 3 ロボット共生社会の実現
- 4 マグネット・カルチャーの推進
- 5 グローバル戦略の推進

超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、重点施策を分野横断的に取りまとめたプロジェクトをさらに複合的に実施する取組を「神奈川の戦略」としてまとめました。

それぞれのねらいと取組内容とともに、構成するプロジェクトを整理して示しました。



神奈川の戦略 1

ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

全国的に少子高齢化が進む中、神奈川でも本格的な人口減少社会の到来が迫っており、くらしや経済活動を支えてきた社会のしくみや基盤の維持が困難となっています。また、日本の国際競争力の強化につながる新産業の創出や育成、既存産業の高度化を進め、地域経済を活性化することが喫緊の課題となっています。

そこで、県では「最先端医療と最新技術の追求」と「未病の改善」という2つのアプローチを融合させ、持続可能な新しい社会システムを創造していく「ヘルスケア・ニューフロンティア」として、未病（ME-BYO）コンセプトの普及による県民の行動変容の促進や新たな市場・産業の創出、再生・細胞医療の産業化拠点づくりなどに取り組んできました。

この取組を市町村や企業、大学など多様な主体と連携しながら一層発展させていくことで、新産業の創出・育成等を図るとともに、すべての世代が生きがいを持って、生き生きと過ごすことができる健康長寿社会の実現をめざします。

具体的な取組

未病の改善

- 未病の状態を「見える化」する「未病指標」について、女性・高齢者などのニーズに応じた利活用や、従業員とその家族の健康づくりに取り組む健康経営への導入を促すなど、生きがいの実現につながるライフスタイルの見直しや社会参加の促進に取り組みます。
- 様々な分野の企業が参加する未病産業研究会を軸に、神奈川ME－BYOリビングラボなどを活用し、未病改善のための商品やサービスについて、その普及・拡大を図るとともに、個人の選択と行動を行政や企業などが支えるしくみづくりを進めます。
- 介護や寝たきりなどの地域の健康課題に対応するために、主な原因である脳卒中やフレイル及び認知症などの解決に向けて産学公連携で取り組みます。

最先端医療・最新技術の追求

- 最先端医療や最新技術をいち早く県民に届けるため、国家戦略特区をはじめとした特区制度なども最大限に活用しながら、「ライフイノベーションセンター（殿町地区）」や、「湘南ヘルスイノベーションパーク（村岡・深沢地区）」など研究開発拠点との連携を通じて、大学と連携したイノベーション人材の育成、研究開発の支援、最新技術の市場化に取り組むとともに、県内における関連産業の集積促進を図ります。
- 海外とのネットワークを活用し、県内企業等の国際展開を支援するとともに、海外の先進的な取組の県内への早期導入を促進します。

次世代社会に向けた基盤づくり

- 産学公が連携して、最新技術等の社会実装を促進することで、持続的に未病改善の商品・サービス等を創出するイノベーション拠点の形成をめざします。
- マイME－BYOカルテの利用を促進するとともに、蓄積されたデータなどを、個人が日々の生活の中で未病改善に活用できるしくみの構築に取り組みます。
- 世界保健機関（WHO）等と連携し、未病コンセプトの発信、エイジフレンドリーシティ（高齢者に優しい地域づくり）の推進及び健康な高齢化に向けたイノベーションの促進などに取り組みます。
- 県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科（ヘルスイノベーションスクール）において、超高齢社会を迎えている中「未病」の概念を踏まえて、イノベーションを起こすことができる人材の育成に取り組みます。

構成プロジェクト

PJ名	構成施策名
プロジェクト3 未病・健康長寿	未病改善による健康寿命の延伸、地域包括ケアシステムの深化
プロジェクト4 文化・スポーツ	誰もが文化芸術に親しむための取組の推進、誰もがスポーツに親しむことのできる社会づくり
プロジェクト5 観光・地域活性化	地域にひとの流れをつくる取組の推進
プロジェクト6 経済・労働	産業競争力の強化

Life Design



神奈川の戦略 2

輝き続ける人生 100 歳時代の実現

平均寿命が延び、本格的な人生100歳時代の到来が予想されています。価値観の多様化が進むなど社会がめまぐるしく変化する中、超長寿の時代に向けて、県民一人ひとりが柔軟な働き方や学び直しといった多様な人生を送ることができる社会づくりを進めていく必要があります。

また、そうした社会づくりを進めるためには、多様な世代・立場の人々がかかわり合いながら活動することができる持続可能な社会への転換が必要です。

そのため、県では、いくつになっても生き生きとくらす未病改善の取組を推進するとともに、人生の充実につながるライフスタイルの多様化を促進するなど、すべての世代・立場の人々が、自分らしく活躍できる社会づくりを推進しています。今後も、SDGsの視点を踏まえながら、これらの取組をより一層推進していくことで、県民一人ひとりが自らの人生の設計図を思い描き、生涯にわたり輝き続ける、笑いあふれる人生100歳時代の実現をめざします。

具体的な取組

生き生きとくらす健康づくりの推進

- すべての世代が未病を自分のこととして考え行動していけるよう、企業や団体、市町村などと連携しながらライフステージに応じた未病対策を推進します。
- 県営住宅の「健康団地」としての再生、多世代居住のまちづくりなど、未病改善につながるコミュニティの再生・活性化に取り組みます。

人生の充実につながるライフスタイルの多様化の促進

- 子どもや若者、高齢者など、世代に応じ、誰もが生涯にわたり文化芸術やスポーツに親しみ、心身ともに豊かな生活を送ることができる取組を推進します。
- 県民一人ひとりの学びの意欲に応え、生涯にわたって能動的に学び続けることや、いくつになっても学び直すことができるよう、生涯学習などの環境整備を行います。
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて職場環境の整備促進に取り組むとともに、企業で働く人の学び直し（リスキリング）への支援に取り組みます。

地域・社会で自分らしく活動できる環境の創出

- コミュニティの再生・活性化に向けて、市町村や企業、NPO、団体などと連携し、人と人のつながりを創出する機会や場の提供に取り組みます。また、地域に住む人が互いに協力し、支え合って生活する地域共生社会のしくみづくりの推進などに取り組みます。
- 若年者や中高年齢者、女性、障がい者等の多様な人材の活躍を促進するため、キャリアカウンセリングや企業と求職者とのマッチングの場の提供等による就業支援に取り組みます。

構成プロジェクト

PJ名	構成施策名
プロジェクト3 未病・健康長寿	未病改善による健康寿命の延伸、地域包括ケアシステムの深化
プロジェクト4 文化・スポーツ	誰もが文化芸術に親しむための取組の推進、誰もがスポーツに親しむことのできる社会づくり
プロジェクト5 観光・地域活性化	移住・定住の促進
プロジェクト6 経済・労働	産業競争力の強化、多様な人材の活躍促進
プロジェクト10 共生社会	ジェンダー平等社会の実現



ロボット共生社会の実現

超高齢社会や人口減少社会が到来し、様々な分野で人手不足が深刻な課題として認識されています。また、不確実性が高まる中、自然災害への迅速な対応や、新興感染症発生時における集団感染の回避なども重要な課題となっています。そうした中、様々な課題の解決に向けて、ロボットがいのちや生活を支えるパートナーとして活躍するとともに、ロボット産業の集積などにより県内産業が持続的に発展していくことが望まれます。

県では、これまで「さがみロボット産業特区」を中心に、見守り介護やインフラ点検など様々な生活支援ロボットの実用化・普及を通じ、県民生活の安全・安心の確保や地域社会の活性化に取り組んできました。

今後も、県民や企業等に向けたロボットの有用性を実感できる機会の提供など様々な取組を通じて、多様な分野における生活支援ロボットの社会実装を加速させることで、まさにロボットがあふれる「ロボット共生社会」の実現をめざします。

具体的な取組

様々な分野における生活支援ロボットの活用促進

- 商業施設や宿泊施設などで、案内ロボットや配膳ロボットなどの生活支援ロボットのさらなる社会実装を推進します。
- 介護施設や医療施設等において、移動介助やリハビリ支援等に活用される介護・医療ロボットの開発支援や導入促進に取り組みます。
- インフラ・建設、災害、農林水産など様々な分野におけるロボットの実用化や普及に取り組みます。

ロボット産業の振興に向けた企業支援

- 企業や大学などが持つ技術・資源を活用した共同開発のコーディネートを行うとともに、早期の商品化や高い発展性・経済的効果が期待できる案件への重点的な支援を行います。
- 実証実験会場やモニターの紹介、実際の利用状況に近い環境を模したプレ実証施設の運営など、ロボットの実用化において不可欠な実証実験の支援に取り組みます。
- 中小企業などのロボット産業への参入促進を図るため、ロボット開発プロジェクトの支援や、マッチング支援、企業間交流に取り組みます。
- 企業が立地しやすい環境づくりや優遇措置の実施などにより、ロボット産業の集積を促進します。
- ドローンの社会実装に向け、開発や実証実験などの支援に取り組みます。

ロボットの普及・定着

- ロボットを実際に体験できる機会の創出や、現場が抱える課題に対応したロボットの導入支援など、ロボットの普及・定着を促進します。
- ARやVR等の最先端技術を活用し、県民や企業に向けてロボットを身近に体験できる機会を提供します。

構成プロジェクト

PJ名	構成施策名
プロジェクト3 未病・健康長寿	地域包括ケアシステムの深化
プロジェクト6 経済・労働	産業競争力の強化
プロジェクト7 農林水産	安定した食料等の生産基盤の構築
プロジェクト10 共生社会	障がい児・者とともに生きる社会の実現
プロジェクト12 危機管理	災害対応力の強化、非常時に対応できる持続可能な医療提供体制の構築
プロジェクト13 都市基盤	交流と連携を支える交通ネットワークの充実



神奈川の戦略 4

マグネット・カルチャーの推進

文化芸術は、心豊かな県民生活の実現や、個性豊かで活力に満ちた地域社会の発展に寄与するため、文化芸術のさらなる振興が求められています。

そこで、県は、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャー（マグカル）の取組を進めています。

「マグカル」の取組では、各関連分野が有機的な連携を図りながら、文化芸術の振興を進め、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まですべての人が舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」や、文化芸術を通じた地域の活性化、神奈川の文化芸術を支える人材の育成などを行っています。

文化芸術の力により、ゆとりと潤いの実感できる社会の実現をめざすため、こうした「マグカル」の取組をさらに進めていきます。

具体的な取組

マグカルの充実、発展に向けた取組

- 文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す事業・活動を「神奈川文化プログラム」として認証し、文化活動や地域の継続的な活性化につなげていきます。
- 伝統的な文化芸術の継承者の育成をめざし、ワークショップの充実支援などに取り組みます。
- 「マグカル・ドット・ネット」による情報発信や情報誌の発行など、情報発信の強化に取り組むとともに、神奈川を訪れる外国人や外国籍県民向けに、多言語による情報提供を促進します。
- 県立文化施設の特色を生かした取組により、文化芸術に関するプロフェッショナル人材の育成を進める取組を推進します。
- 友好交流先やベトナムなどとの多様な文化交流を推進していきます。

共生共創事業の推進

- 年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まですべての人が、舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を実施します。
- 県営団地で団地住民等を対象に合唱事業を実施し、文化芸術の振興とともに、共生社会の実現や未病改善などに向けた取組を推進します。
- 市町村や企業、NPO、団体と連携し、文化芸術活動などを通じて、人と人とのつながりの創出に取り組みます。
- ともいきアートの実施など、障がいの程度や状態にかかわらず誰もが文化芸術を鑑賞、創作、発表する機会の創出や環境整備を行い、障がい者が自ら楽しむための取組を推進します。

文化芸術による地域活性化

- 文化芸術活動を通じた活性化に取り組む地域を支援するなど、マグカルの全県展開を推進します。
- 文化芸術を観光資源として活用し、文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環を創出する取組を推進します。
- 各地域の文化財や伝統的な芸能などを活用して、県内外に発信していきます。

構成プロジェクト

PJ名	構成施策名
プロジェクト3 未病・健康 長寿	未病改善による健康寿命の延伸
プロジェクト4 文化・スポーツ	誰もが文化芸術に親しむための取組の推進
プロジェクト5 観光・地域 活性化	観光の振興
プロジェクト10 共生社会	障がい児・者とともに生きる社会の実現、多文化共生の推進



神奈川の戦略 5

グローバル戦略の推進

グローバル化等により社会・経済の変化が激しくなる中、海外進出している県内企業等の増加や、外国人労働者の受入れ進展などによる神奈川でくらす外国籍県民等のさらなる増加など、神奈川と世界との結びつきはますます強まっています。

県ではこれまでも、企業の海外展開支援や外国企業の誘致などに取り組んできましたが、神奈川が人口減少局面を迎える中、産業の国際競争力の強化やインバウンド消費の向上などにより県内経済を活性化していくことが期待されます。

こうしたことから、外国籍県民等が安心してくらすことができる環境の整備などに引き続き取り組み、外国籍県民等も地域でともにくらす一員として活躍できるよう、当事者目線で多文化共生の地域社会づくりを進めます。

また、様々な分野における神奈川の魅力や先進的な取組を世界に強力に発信し、神奈川の強みを生かした積極的な国際展開を推進します。

さらに、国際社会で活躍できる多様な人材の育成、外国人材が働きやすい環境づくりを進め、グローバル人材などの活躍を促進するとともに、神奈川の特徴を生かした友好交流先等との国際交流・協力を推進します。

具体的な取組

多文化共生の地域社会づくり

- 国籍などの違いを越えて多様性を理解し、一人ひとりが互いに認め合うことができる社会の実現をめざし、多文化理解を推進します。
- 外国籍県民等も、言葉の壁などにより不便や疎外感を感じることなく、安心してくらすことができる環境を整備します。

神奈川の強みを生かした国際展開

- 県内経済の活性化を図るため、県内中小企業の海外展開支援と外国企業の誘致を進めます。
- 海外の先進地域などと連携し、最先端医療や未病関連分野の産業の国際展開を促進します。
- 世界保健機関（WHO）が推進する、「健康な高齢化」や「エイジフレンドリーシティ（高齢者に優しい地域づくり）」の取組と連携し、未病改善や高齢者ケアの取組活性化に向けた情報発信等を行います。
- 県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科（ヘルスイノベーションスクール）において、イノベーションを担い、国際社会において活躍できる人材の育成に取り組みます。
- 富裕層向けの高付加価値コンテンツの開発や観光レップを通じたプロモーション、市町村と連携したMICE誘致等により、観光消費額が高い外国人観光客の誘致促進に取り組みます。
- 世界に向けて神奈川の文化の魅力を発信するとともに、文化芸術の国際交流を推進します。

グローバル人材などの活躍促進

- 英語による実践的コミュニケーション能力を育む取組や高校生の国際交流支援などのグローバル化に対応した教育を通じ、国際性豊かな人材を育成します。
- 「かながわ国際ファンクラブ」を活用した幅広い留学生支援、友好交流先等との国際交流の推進、海外からの研修員の受入れなどにより、人と人との交流を進め、人的ネットワークづくりを促進します。
- 経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者の学習支援など外国人材の活躍促進に取り組みます。
- 労働相談の多言語化などを行うことにより、外国人材が働きやすい環境づくりを促進します。

構成プロジェクト

PJ名	構成施策名
プロジェクト2 教育	思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成する学校教育
プロジェクト3 未病・健康長寿	未病改善による健康寿命の延伸
プロジェクト4 文化・スポーツ	誰もが文化芸術に親しむための取組の推進
プロジェクト5 観光・地域活性化	観光の振興
プロジェクト6 経済・労働	産業競争力の強化、中小企業の収益の改善、多様な人材の活躍促進
プロジェクト10 共生社会	多文化共生の推進

プロジェクトに関連する地域づくりの取組

川崎・横浜地域圏

三浦半島地域圏

県央地域圏

湘南地域圏

県西地域圏

「プロジェクトに関連する地域づくりの取組」は、プロジェクトに位置付けた事業のうち、「都市基盤」「危機管理」に関連する整備事業を中心に、地域で展開するものを5つの地域政策圏ごとに示したものです。

各地域の事業箇所を示した地域図、主な事業などを示しています。

川崎・横浜地域圏

川崎、横浜の各市域、及びその周辺地域



川崎・横浜地域は、先端技術産業や数多くの研究機関が集積する川崎市域と、開港以来、海外から様々な文化を取り入れ新たな産業を生み出してきた横浜市域及びその周辺の地域からなる地域です。

そこで、都市に残された貴重な自然環境との調和を図りながら、これまでの文化や産業の集積を生かし、経済の活性化や国際交流・文化交流をさらに充実させるとともに、世界とつながる文化や産業を発信することで、にぎわいや活力があふれ、国際色豊かで魅力あふれる地域をめざして、次の事業などに取り組めます。

地域を支える主な取組

分野	主な取組	プロジェクト
都市基盤	・東海道貨物支線の貨客併用化の促進	PJ13 都市基盤
	・川崎縦貫道路（I期）、高速横浜環状南線、横浜湘南道路、国道357号の整備促進	
	・市街地再開発事業（綱島駅東口駅前地区〔2031年度完成予定〕）の促進	
	・県営鶴ヶ峰団地の整備	
	・多自然護岸の整備（恩田川、平瀬川（支川））	
	・親水施設の整備（中村川、堀川）	
危機管理	・県立都市公園などの整備（東高根森林公園、三ツ池公園、四季の森公園、境川遊水地公園、保土ヶ谷公園など）	PJ12 危機管理
	・多摩川の整備	
	・護岸の整備（帷子川、恩田川、境川、今井川、阿久和川、平瀬川（多摩川合流部））	

分野	主な取組	プロジェクト
危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 遊水地、地下調節池の整備（矢上川 [2030 年度暫定供用予定]、柏尾川 [2026 年度暫定供用予定]、恩田川 [2029 年度完成予定]） 	PJ12 危機管理
	<ul style="list-style-type: none"> 境川相鉄橋りょう架替 [2029 年度完成予定] 	
	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊防止施設の整備（下倉田南地区など） 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 横浜東部方面特別支援学校の整備 [2029 年度完成予定] 	PJ2 教育
	<ul style="list-style-type: none"> 川崎南部方面特別支援学校の整備 [2028 年度完成予定] 	
	<ul style="list-style-type: none"> 県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科における次世代のヘルスイノベーターの育成 	PJ3 未病・健康長寿
	<ul style="list-style-type: none"> 県立図書館の再整備 [2026 年度完成予定] 	PJ4 文化・スポーツ
	<ul style="list-style-type: none"> 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の推進 	PJ6 経済・労働
	<ul style="list-style-type: none"> 産学公連携による技術の高度化支援 	
	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地や設備投資などの促進 	
	<ul style="list-style-type: none"> 里地里山の保全（黒川地域） 	PJ7 農林水産
	<ul style="list-style-type: none"> 2027 年国際園芸博覧会の開催に向けた取組 	

主 な 事 業

1 京浜臨海部ライフィノベーション 国際戦略総合特区の推進

我が国の国際競争力の強化及び県内経済の活性化につなげるため、京浜臨海部ライフィノベーション国際戦略総合特区を拠点として産業及び技術の集積を推進することで県内における基幹産業の創出・育成を促進します。



京浜臨海部（出典：川崎市）

2 自動車専用道路網の整備促進

圏央道の一部である高速横浜環状南線や横浜湘南道路の整備を促進し、川崎・横浜地域圏と湘南地域圏及び県央地域圏の結びつきを強化するなど、自動車専用道路網の整備を促進します。



高速横浜環状南線
栄インターチェンジ・ジャンクション

3 2027年国際園芸博覧会の開催に 向けた取組

「幸せを創る明日の風景」をテーマに横浜市で開催される2027年国際園芸博覧会を通じて、国際的な園芸・造園の振興や社会的な課題解決等に貢献する取組を横浜市などと連携しながら進めます。



2027年国際園芸博覧会
会場平面図

4 治水対策の推進

近年、激甚化・頻発化する台風等による豪雨災害の未然防止を図るため、帷子川や今井川などの護岸整備や、柏尾川新規遊水地、矢上川地下調節池の整備など、都市化の進展が著しい地域を流れる河川の整備を重点的に進めます。



柏尾川新規遊水地

三浦半島地域圏

横須賀、鎌倉、逗子、三浦の各市域、
葉山町域、及びその周辺地域



三浦半島地域は、三方を海に囲まれ、変化に富んだ海岸線を有し、多摩丘陵から続く、まとまったみどりや豊かな歴史と伝統に恵まれた地域です。

そこで、貴重なみどりと三方に広がる海、豊かな歴史的文化遺産、全国有数の露地野菜産地、美しい景観など、三浦半島が持つ地域資源を保全しながら、これと調和・共生した都市的環境の形成により、経済と環境の好循環を生み出すことで、うるおいを持って快適に過ごすことができ、首都圏や海外からも多くの人々をひきつける魅力と活力あふれる地域づくりをめざして、次の事業などに取り組めます。

地域を支える主な取組

分野	主な取組	プロジェクト
都市基盤	・市街地再開発事業（追浜駅前第2街区[2027年度完成予定]、若松町1丁目地区[2028年度完成予定]）の促進	PJ13 都市基盤
	・高速横浜環状南線、横浜湘南道路、国道357号の整備促進	
	・東京湾口道路計画の推進	
	・インターチェンジ接続道路の整備（（都）横浜藤沢線（関谷工区））	
	・交流幹線道路網の整備（（都）安浦下浦線、三浦縦貫道路、（都）西海岸線など）	
	・（仮称）横須賀PAスマートインターチェンジの整備促進	
	・交差点改良（県道302号（小袋谷藤沢）など）	
	・歩道の整備（県道215号（上宮田金田三崎港）など）	
	・橋りょうの修繕（国道134号小坪橋[2025年度完成予定]など）	
	・トンネルの修繕（県道311号（鎌倉葉山）小坪隧道[2025年度完成予定]など）	

分野	主な取組	プロジェクト
都市基盤	・葉山港の整備	PJ13 都市基盤
	・県立都市公園の整備（観音崎公園、塚山公園、城ヶ島公園、葉山公園、はやま三ヶ岡山緑地）	
	・三浦半島国営公園の誘致	
	・公共下水道の整備の促進	
	・県営追浜第一団地、県営浦賀かもめ団地の整備	
危機管理	・地すべり防止施設の整備（大沢地区など）	PJ12 危機管理
	・急傾斜地崩壊防止施設の整備（佐原1丁目C地区など）	
	・道路法面の防災対策（国道134号など）	
	・橋りょうの耐震補強（県道28号（本町山中）山中高架橋[2026年度完成予定]など）	
	・無電柱化（国道134号など）	
	・護岸の整備（田越川）	
	・海岸保全施設（横須賀海岸長井地区）の整備	
	・砂浜の回復と保全（鎌倉海岸、逗子海岸、葉山海岸、三浦海岸（初声地区））	
その他	・県立保健福祉大学における人材育成	PJ3 未病・健康長寿
	・かながわシープロジェクトの推進	PJ5 観光・地域活性化
	・三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進	
	・湘南国際村の活性化	
	・地域の特性を生かした移住・定住の促進	
	・産学公連携による技術の高度化支援	PJ6 経済・労働
	・企業立地や設備投資などの促進	
	・農村振興総合整備（諸磯小網代地区）	PJ7 農林水産
	・農業用水路の整備（水余地区）	
	・漁港の整備（三崎漁港）[2028年度完成予定]	
・県版脱炭素モデル地域の取組	PJ8 脱炭素・環境	

地域図



三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進

国営公園の誘致

かながわシープロジェクトの推進

- 事業箇所・内容
- 道路整備等
- 計画路線
- 道路
- 鉄道

主な事業

1 地域資源を活用した魅力づくり

「海」や「食」など、三浦半島地域の多様な資源の魅力を生かした「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を推進し、地域の活性化を進めます。また、湘南国際村を生かしたにぎわいの創出に取り組みます。



県立城ヶ島公園

2 交流幹線道路網の整備

三浦半島地域は、地形などの制約から幹線道路が少なく、慢性的な交通渋滞が発生していることから、都市計画道路西海岸線などの幹線道路網の整備を進めます。



都市計画道路西海岸線
イメージ図

3 脱炭素社会の実現に向けた取組の推進

脱炭素社会の実現に向けて、市町や企業など様々なステークホルダーと連携し、モビリティの電動化やブルーカーボンの取組等を推進します。また、脱炭素化と同時に、関係人口の増加や交通渋滞の解消等、地域特有の課題解決を図ることをめざします。



ブルーカーボン

4 土砂災害防止施設などの整備

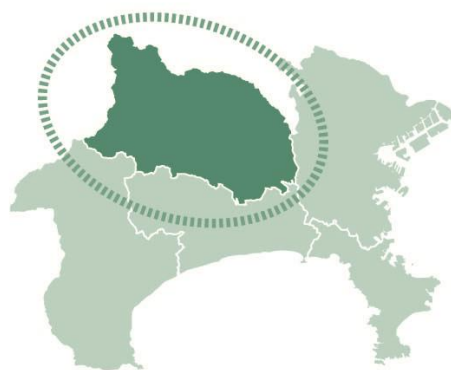
自然災害から県民の生命や財産を守るため、大沢地区や佐原1丁目C地区などにおいて、地域の地形や自然状況などに応じた土砂災害を防止する施設などの整備を進めます。



急傾斜地崩壊防止施設
池子3丁目B地区（逗子市）

県央地域圏

相模原、厚木、大和、海老名、座間、綾瀬の各市域、
愛川、清川の各町村域、及びその周辺地域



県央地域は、丹沢や相模川を中心とした森林・川・湖などの自然と活気ある都市とがバランスよく存在する地域です。

そこで、豊かな自然を保全し、これを活用した地域の魅力づくりと活性化を進めるとともに、広域的な交通結節機能を踏まえた生活環境や産業基盤の整備を図り、自然と都市、産業、文化が調和し、うるおいと活力にあふれた地域づくりをめざして、次の事業などに取り組みます。

地域を支える主な取組

分野	主な取組	プロジェクト
都市基盤	・厚木秦野道路（国道 246 号バイパス）の整備促進	PJ13 都市基盤
	・交流幹線道路網の整備（県道 22 号（横浜伊勢原）、県道 42 号（藤沢座間厚木）、（都）丸子中山茅ヶ崎線、（都）座間南林間線、県道 46 号（相模原茅ヶ崎）（上郷立体）など）	
	・東名高速道路大和トンネル付近、中央自動車道小仏トンネル付近や相模湖付近の渋滞対策の促進	
	・リニア中央新幹線の建設促進と県内駅設置	
	・JR 相模線複線化等の促進	
	・交差点改良（県道 40 号（横浜厚木）など）	
	・歩道の整備（県道 60 号（厚木清川）[2025 年度完成予定] など）	
	・トンネルの修繕（県道 42 号（藤沢座間厚木）関口立体 [2024 年度完成予定] など）	
	・多自然護岸の整備（目久尻川、永池川）	
	・県立都市公園の整備（相模原公園、相模三川公園、座間谷戸山公園、あいかわ公園、津久井湖城山公園、七沢森林公園、相模湖公園）	

分野	主な取組	プロジェクト
都市基盤	・ 県営上溝団地、県営いちよう下和田団地、県営綾瀬寺尾団地の整備	PJ13 都市基盤
	・ 相模川流域下水道の整備	
	・ 公共下水道の整備の促進	
	・ アオコ対策（相模湖など）	
危機管理	・ 護岸、堤防の整備（相模川、境川、引地川、蓼川）	PJ12 危機管理
	・ 境川相鉄橋りょう架替 [2029 年度完成予定]	
	・ 相模川中流域の置き砂の実施	
	・ 砂防施設の整備（明神沢など）	
	・ 急傾斜地崩壊防止施設の整備（関口地区など）	
	・ 道路法面の防災対策（国道 412 号 [2025 年度完成予定] など）	
	・ 橋りょうの耐震補強（県道 64 号（伊勢原津久井）岩道橋 [2025 年度完成予定] など）	
	・ 無電柱化（県道 42 号（藤沢座間厚木）など）	
	・ 総合防災センター及び消防学校の活用	
	・ 堆積土砂の除去（相模湖など）	
その他	・ 水源地域の活性化と水源環境の理解促進	PJ5 観光・ 地域活性化
	・ 地域の特性を生かした移住・定住の促進	
	・ ロボット産業の創出・育成	PJ6 経済・労働
	・ 産学公連携による技術の高度化支援	
	・ 企業立地や設備投資などの促進	
	・ 農村振興総合整備（早川春日原地区）	PJ7 農林水産
	・ 農業用水路の整備（相模川右岸地区、相模川左岸県央地区など）	
	・ 農業用取水施設の整備（清水下地区）	
	・ 里地里山の保全（小松・城北地域、七沢地域、荻野地域、小鮎地域、篠原の里地域）	
	・ 森林整備の推進	PJ8 脱炭素・ 環境

主 な 事 業

1 「さがみロボット産業特区」の推進

さがみ縦貫道路の沿線地域等を対象に生活支援ロボットの
実用化を図る地域活性化総合特区「さがみロボット産業
特区」(第3期計画)を推進し、県内企業のロボット産業へ
の参入とロボットの社会実装を促進します。



生活支援ロボット

2 交通網の整備促進

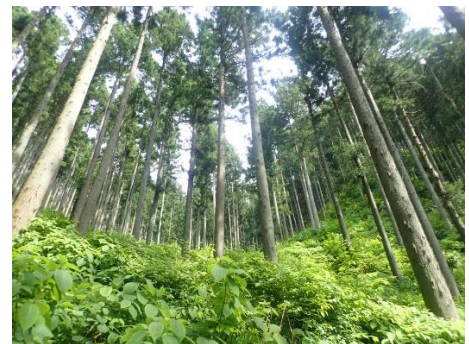
リニア中央新幹線の建設促進やJR相模線複線化等の促進
など鉄道網の整備を促進します。また、厚木秦野道路(国
道246号バイパス)の整備促進を図るとともに、県道42
号(藤沢座間厚木)などの道路網の整備を進めます。



リニア中央新幹線

3 森林整備と里地里山の保全の推進

丹沢を中心とした森林エリアでは、水源かん養機能やCO₂
吸収にもつながる森林が持つ公益的機能を向上させるた
めの森林整備を進めます。また、農林水産業の多面的機能
を発揮するため、里地里山の保全を推進します。



整備された森林

4 総合防災センター及び消防学校の活用

総合防災センターの臨場感ある体験施設や防災シアター
の活用による県民の防災意識の向上を図ります。また、
「かながわ版ディザスターシティ(県消防学校の災害救助
訓練施設)」の活用などを通じて、防災関係機関の災害救
助対応力の強化を図ります。



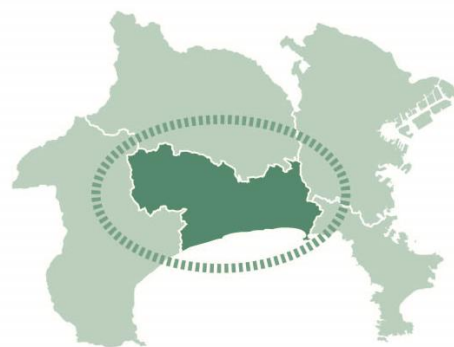
総合防災センター
(消火体験)



総合防災センター
(地震体験)

湘南地域圏

平塚、藤沢、茅ヶ崎、秦野、伊勢原の各市域、
寒川、大磯、二宮の各町域、及びその周辺地域



湘南地域は、湘南のなぎさや相模川、丹沢のやまなみなどの自然資源や相模湾沿岸に広がる旧別荘などの歴史・文化的資源に恵まれた地域です。

そこで、豊かな自然環境や、湘南地域で育まれた貴重な地域資源の保全や活用を図るとともに、交通ネットワークの整備とあわせた都市機能の向上や、環境と共生したまちづくりを進め、人々をひきつけ、持続可能な活力にあふれた地域づくりをめざして、次の事業などに取り組みます。

地域を支える主な取組

分野	主な取組	プロジェクト
都市基盤	・相鉄いずみ野線延伸の検討	PJ13 都市基盤
	・JR東海道本線の村岡新駅（仮称）の設置促進 [2032 年頃開業目標]	
	・新東名高速道路 [2027 年度完成予定]、厚木秦野道路（国道 246 号バイパス）、新湘南バイパス（Ⅱ期）、横浜湘南道路の整備促進	
	・交流幹線道路網の整備（（都）湘南新道、（都）石田小稲葉線、県道 410 号（湘南台大神）、（仮称）ツインシティ橋など）	
	・道の駅湘南ちがさきの整備促進 [2025 年度完成予定]	
	・交差点改良（県道 404 号（遠藤茅ヶ崎）など）	
	・歩道の整備（県道 705 号（堀山下秦野停車場）[2026 年度完成予定] など）	
	・橋りょうの修繕（県道 71 号（秦野二宮）新中島橋 [2025 年度完成予定] など）	
	・県立都市公園などの整備（境川遊水地公園、秦野戸川公園、大磯城山公園、いせはら塔の山緑地公園、茅ヶ崎里山公園、湘南海岸公園、辻堂海浜公園、湘南汐見台公園）	
	・国、町と連携した明治記念大磯邸園の整備	

分野	主な取組	プロジェクト
都市基盤	・相模川流域下水道等の整備（左岸処理場、右岸処理場、寒川平塚幹線）	PJ13 都市基盤
	・公共下水道の整備の促進	
	・ツインシティ大神地区土地区画整理事業の促進 [2025 年度補助事業完了予定]	
	・藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業の推進 [2033 年度補助事業完了予定]	
	・県営横内団地、県営伊勢原テラス、県営伊勢原峰岸団地、県営二宮団地の整備	
	・東海道新幹線新駅の設置、ツインシティの整備	
	・JR相模線複線化等の促進	
	・湘南港、大磯港の整備	
	・多自然護岸の整備（小出川）	
	・湘南海岸砂防林保護育成（藤沢～大磯）	
危機管理	・相模川の整備	PJ12 危機管理
	・護岸の整備（小出川、金目川、歌川、鈴川、渋田川、河内川、不動川、葛川、引地川）	
	・遊水地の整備（小出川 [2030 年度完成予定]）	
	・渋田川小田急橋りょう架替	
	・砂防施設の整備（吉ノ沢など）	
	・急傾斜地崩壊防止施設の整備（東田原地区など）	
	・橋りょうの耐震補強（国道 134 号湘南大橋 [2025 年度完成予定] など）	
	・無電柱化（県道 61 号（平塚伊勢原）など）	
	・橋りょうの架替え（国道 134 号（花水川橋））	
	・砂浜の回復と保全（藤沢海岸、茅ヶ崎海岸、平塚海岸、大磯海岸、二宮海岸）	
その他	・湘南方面特別支援学校の整備 [2027 年度完成予定]	PJ2 教育
	・かながわシープロジェクトの推進	PJ5 観光・ 地域活性化
	・地域の特性を生かした移住・定住の促進	
	・ロボット産業の創出・育成	PJ6 経済・労働
	・産学公連携による技術の高度化支援	
	・企業立地や設備投資などの促進	
	・農業用水路の整備（沼目大田地区、大城地区など）	PJ7 農林水産
	・里地里山の保全（土沢地域、石川丸山谷戸地域、名古屋地域、菩提地域、堀西地域、蓑毛地域、寺山地域）	

主 な 事 業

1 地域資源を生かした観光施策の推進

大山地域など多彩な地域資源を生かした観光の振興、国、町と連携した明治記念大磯庭園の整備や湘南港を拠点とした海洋ツーリズムの推進により、地域の活性化を促進します。



大山阿夫利神社下社

2 交通網の整備促進

JR東海道本線の村岡新駅(仮称)の設置や東海道新幹線新駅の設置を促進し、利便性の高い鉄道網の整備に取り組みます。また、新東名高速道路及び厚木秦野道路(国道246号バイパス)などの整備促進を図るとともに、県道410号(湘南台大神)((仮称)ツインシティ橋)などの道路網の整備を進めます。



新東名高速道路新秦野インターチェンジ

3 ツインシティの整備と東海道新幹線新駅の設置

再生可能エネルギーの導入など、環境共生モデル都市ツインシティを整備することで、魅力あるまちづくりを推進するとともに、全国や首都圏との交流連携の窓口となる東海道新幹線の新駅を設置し、地域全体の活性化を図ります。



ツインシティ大神地区
土地区画整理事業

4 湘南の美しいなぎさの保全

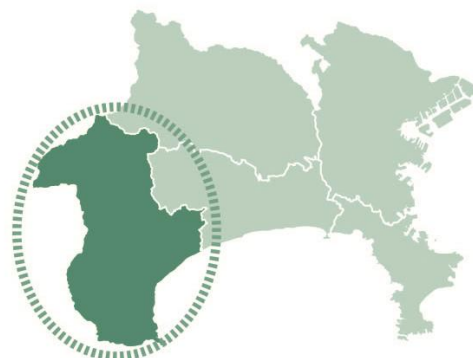
茅ヶ崎海岸などにおいて養浜を主体とした侵食対策を取り組み、津波や高潮に対する防護機能を高めるとともに、観光や海洋性レクリエーション等多様に利用される砂浜の回復・保全を進めます。



茅ヶ崎海岸

県西地域圏

小田原、南足柄の各市域、中井、大井、松田、山北、開成、箱根、真鶴、湯河原の各町域、及びその周辺地域



県西地域は、富士・箱根・伊豆に連なる豊かな自然を背景に、山・川・海・湖・温泉、歴史や文化などの多彩な地域資源に恵まれた地域です。

そこで、豊かな自然、歴史・文化などの地域資源を生かし、未病の戦略的エリアとしての魅力を向上させるとともに、地域の特色を生かした様々な生産活動が営まれ、職・住・遊が一体となって豊かなくらしを実感できる、活力と魅力あふれる地域づくりをめざして、次の事業などに取り組めます。

地域を支える主な取組

分野	主な取組	プロジェクト
都市基盤	・新東名高速道路の整備促進 [2027 年度完成予定]	PJ13 都市基盤
	・伊豆湘南道路（神奈川と静岡の県境をまたぐ道路）計画の促進	
	・西湘バイパス延伸計画の促進	
	・交流幹線道路網の整備（（都）金子開成和田河原線、（都）穴部国府津線、（都）城山多古線、 県道 709 号（中井羽根尾）など）	
	・（仮称）山北スマートインターチェンジの整備促進 [2027 年度完成予定]	
	・交差点改良（国道 138 号など）	
	・歩道の整備（県道 77 号（平塚松田）など）	
	・橋りょうの修繕（国道 135 号新島橋 [2025 年度完成予定] など）	
	・真鶴港の整備	
	・多自然護岸の整備（芦の湖）	
	・酒匂川流域下水道の整備（左岸処理場、右岸処理場、箱根小田原幹線）	
	・公共下水道の整備の促進	
	・県立都市公園の整備（おだわら諏訪の原公園、恩賜箱根公園、山北つぶらの公園）	

分野	主な取組	プロジェクト
危機管理	・護岸の整備（山王川、森戸川、早川）	PJ12 危機管理
	・山王川小田急橋りょう架替 [2024 年度完成予定]	
	・海岸保全施設（小田原海岸前川地区）の整備	
	・砂防施設の整備（宮沢川、車沢など）	
	・地すべり防止施設の整備（大涌沢、早雲山など）	
	・急傾斜地崩壊防止施設の整備（入生田地区など）	
	・道路法面の防災対策（国道 1 号など）	
	・橋りょうの耐震補強（県道 712 号（松田停車場）新十文字橋 [2028 年度完成予定] など）	
	・無電柱化（国道 255 号など）	
	・火山災害対策の強化	
	・砂浜の回復と保全（小田原海岸、湯河原海岸）	
	・酒匂川中下流域の堆積土砂の移動	
	・三保ダム下流域の置き砂の試行	
	・堆積土砂の除去（丹沢湖）	
その他	・県西地域活性化プロジェクトの推進（未病バレー「ピオトピア」の活用など）	PJ5 観光・ 地域活性化
	・かながわシープロジェクトの推進	
	・水源地域の活性化と水源環境の理解促進	
	・地域の特性を生かした移住・定住の促進	
	・産学公連携による技術の高度化支援	
その他	・企業立地や設備投資などの促進	PJ6 経済・労働
	・ほ場の整備（千代地区）	PJ7 農林水産
	・農道の整備（広域農道小田原湯河原線、早川石橋地区）	
	・農業用水路の整備（鬼柳地区）	
	・水路兼用農道の整備（曾我谷津地区、曾我別所地区）	
	・林道の整備（宮城野林道、玄倉林道など）	
	・漁港の整備（小田原漁港） [2032 年度完成予定]	
	・里地里山の保全（久野地域、上曾我地域、大雄町五本松・原地域、矢倉沢地域、内山地域、寄地域）	

主 な 事 業

1 未病の戦略的エリアとしての 県西地域の活性化

「つながり」と未病改善のライフスタイルを実践する「かながわ県西での“心地よい”暮らし」をめざすがたとして、未病の戦略的エリアの特色をはじめとした地域の魅力を生かし、移住・定住の促進や周遊促進などを行う「県西地域活性化プロジェクト」を推進します。



未病バレー「ビオトピア」

2 道路網の整備促進

新東名高速道路の整備促進を図るとともに、伊豆湘南道路などの計画の具体化や、都市計画道路城山多古線などの道路網の整備を進めます。また、スマートインターチェンジの整備促進など道路網の有効活用にも取り組みます。



都市計画道路城山多古線

3 小田原漁港の整備

小田原漁港は、県西地域における水産業及び地域の振興を図るための拠点として、機能保全事業基本計画に基づき施設の長寿命化対策を進めます。また、小田原漁港海岸では、背後地における人命・資産の防護を図るため、海岸保全施設の整備を進めます。



小田原漁港

4 火山対策の強化

県民や箱根を訪れる観光客の安全・安心を確保するため、温泉地学研究所における箱根山の火山観測・監視体制の安定的な運用や、情報発信機能の確保を図ります。また、関係機関との連携強化や県民の火山防災意識の高揚を図るため、箱根山(大涌谷)及び富士山の噴火を想定した防災訓練や、普及啓発を行います。



大涌谷調査

